

年國公御傳記附録

16

五ノリョク
 神聖一書
 弘化二年己巳年
 田内補注

自教鑑 全
 政事錄 六冊
 求言錄 六冊
 古史選 全
 漢昏論說 全
 祥昏識小 拾冊
 統昏功課錄 全
 小忠偶筆 全
 檣之刺 全
 甲子刀板打 全
 去のりよそは 全
 大外形子 全

修身錄 全
 國本論 四冊
 大學衍義纂註 十五冊
 和漢一轍 全
 尚安餘筆 三冊
 正名考 全
 言志集 全
 静漁夫人和集 全
 去のりよそは 全
 神名柳 全

五女三部の事十卷の事

御家訓 全 哀鳴筆記 全

御規度 全 花栞集 全

御君輔佐之心傳 全 御君奉仕之心傳 全

浮城寺令集 全 敷教條約 全

大學徑文譜義 四冊 双艱集 全

案のあや丸 全 勤例類彙 全

五女三部の事十卷の事 十冊 勤例類彙 全

退閑雜記 十三冊 今後篇 全

敬簡堂筆叢 五冊 御家流共存 全

甲乙流系道分 御家流大御存 全

御家流大御存 全

樂典 西冊 浴樂問答 合一冊

古画類聚 廿八卷 集古十種 八十五冊

集古堂墨帖 古文昏部類 八十二冊

平家物語之画圖 車輿圖考 四冊

今現在部類 積教 拾七冊

措則 字彙 全

疏識小 康序筆記 全

赤守の事筆記 赤守の事帖 全

御家流系事心得 茶道訓 全

老後茶集 責善集 全

全別録 天満宮恩傳 全

電照集 寶蓮夫人奇集 全

容典園待稿

心冊子

後激一覽

明月帖

一樂集

玉江科

狗日記

近洛可遊稿

右四十二部は畢字六十で内退後の後り古午古辰所の事

あまのり也

花月冊子

以中久学

墨池荃

職人尽僧詞

櫻花帖

白曾帖

山の科

翠の草子

白河江土記

二冊

三卷

全

全

北八冊

五冊

全

全

六冊

全

遠西草木譜

婆心録

全

克終蕭附言

醉徳録

花月老人筆記

医論隨筆

むらり

樂亭文稿

自得和歌集

菅杜集

草露集

蓬月伝公集

查法抄

群題一首抄

全

二冊

全

全

全

二冊

二冊

全

二冊

二冊

全

六冊

兵学外昏

六四史補纂

樂亭妙藥集

小の事

涉芽

獨看和歌集

蓬窓集

秋泊集

藤玉集

名所和歌抄

多の事

旅乃抄

拾冊

拾冊

全

全

全

拾冊

全

全

六冊

全

全

全

老中平家
林奈酒乘漸放遣

全

御手前之馬
佐野炭垣田
三田彦九
兼長内井陰國朝

全

今波志

全

起
衣
小
帳

全

今附録

全

夏
料

全

雪月花歌合
攝初度
百首

曙夕歌合
攝初度
百首

源氏五十四卷
四季之御寄
二百九十二首
四季雜之題

全
洗
字
也

月十五番歌合

佐野傳初度
後度
百首歌
之
判
詞

住吉社願成奉納和歌百首
幕朝年中
行事歌合
判詞
五冊

若四十二部
改作
由
後
乃
法
學
記
也

自教鑑 壹冊

此鑑十二の巻は卷を改題して初卷の巻は日清記と云ふ又為田原吉房の思

善入の御傳。善入の御傳は夫和歌百一首と云ふ一冊は入海の御傳と

云はしむる御傳は夫和歌百一首と云ふ一冊は入海の御傳と

云ふ入海の御傳

備身録 壹冊

太宰の人若為の御傳は夫和歌百一首と云ふ一冊は入海の御傳と

云ふ入海の御傳

改事録

改事入意切御傳は夫和歌百一首と云ふ一冊は入海の御傳と

國本論 全并附録 二冊

氏子の奉りし御傳は夫和歌百一首と云ふ一冊は入海の御傳と

Handwritten text in Arabic script, likely a preface or introductory section, starting with a large initial letter.

群分識

Main body of handwritten text in Arabic script, continuing the narrative or discussion.

續谷加課錄

Second page of handwritten text in Arabic script, continuing the text from the previous page.

求言錄 六冊

Final section of handwritten text in Arabic script on the second page.

小宮偶筆

全

大學新義纂注

廿冊

行至在始... 皆以漢... 於... 之... 復... 先... 換... 年...

言志錄

一冊

此... 尚... 世... 亦... 和漢一微

和漢一微

全

古史逸... 卷... 之... 之...

全

卷... 之... 之...

Handwritten text at the top of the page.

Handwritten text in the first column.

Handwritten text in the second column.

Handwritten text in the third column.

Handwritten text in the fourth column.

Handwritten text in the fifth column.

Handwritten text in the first column of the second page.

Handwritten text in the second column of the second page.

Handwritten text in the third column of the second page.

Handwritten text in the fourth column of the second page.

Handwritten text in the fifth column of the second page.

Handwritten text in the sixth column of the second page.

Handwritten text in the seventh column of the second page.

Handwritten text at the top left of the page.

Main body of handwritten text on the left page, consisting of approximately 15 lines of cursive script.

所規定

人君は天下を治めしむるに

衣鶴筆書

世に治むるは徳を以て

人君の徳は天下の徳也

衣鶴筆書

徳は徳を以て徳を以て

徳を以て徳を以て徳を以て

徳を以て

徳を以て徳を以て徳を以て

徳を以て徳を以て徳を以て

徳を以て徳を以て徳を以て

徳を以て徳を以て徳を以て

切高舟はの心持 口補佐の心持 善舟の心持

舟乗の心持 舟乗の心持 舟乗の心持

花橋録

舟乗の心持 舟乗の心持

双艇集 上下冊

舟子の心持 舟子の心持 舟子の心持

舟子の心持 舟子の心持 舟子の心持

舟子の心持

舟子の心持 舟子の心持 舟子の心持

舟子の心持 舟子の心持 舟子の心持

舟子の心持 舟子の心持 舟子の心持

舟子の心持 舟子の心持 舟子の心持

舟子の心持 舟子の心持 舟子の心持

大学經文講義 四冊

舟子の心持 舟子の心持 舟子の心持

舟子の心持 舟子の心持 舟子の心持

舟子の心持 舟子の心持 舟子の心持

舟子の心持 舟子の心持 舟子の心持

舟子の心持

常時勤例 一冊

不時勤例 四冊

在格勤例 一冊

勤例彙類 十八冊 目錄一冊

舟子の心持 舟子の心持 舟子の心持

舟子の心持 舟子の心持 舟子の心持

此後... 退南雜記... 十冊... 後者... 冊... 日走... 相... 牛... 春... 迥... 地...

退南雜記 十冊... 後者 冊... 日走... 相... 牛... 春... 迥... 地...

退南雜記 十冊... 後者 冊... 日走... 相... 牛... 春... 迥... 地...

樂學筆記 一冊

此後... 退南雜記... 十冊... 後者... 冊...

集五種 一十冊

此後... 退南雜記... 十冊... 後者... 冊...

中像
古入

初の巻に... 鐘鏡 碑板 兵巻 樂巻 書画 印章 高類 知香 文房 詞
... (faded text) ...
... (faded text) ...

集古堂墨帖

和漢の古の墨帖...
... (faded text) ...

古文今考類 十一冊

書名... 卷一... 卷二... 卷三... 卷四... 卷五... 卷六... 卷七... 卷八... 卷九... 卷十... 卷十一...
... (faded text) ...

古金鼓張 三十一卷

... (faded text) ...
... (faded text) ...

書集 二冊并附録 一冊

當此人心不古之時，君子之德，不可不修。其所以修德者，在乎其心之正與否。心正則德立，心不正則德廢。故君子必先正其心，後求其德。此所謂格致誠正之學也。其所以格致者，在乎其心之虛與否。心虛則格致，心不虛則格致不格。故君子必先虛其心，後求其格致。此所謂致知格物之學也。其所以誠正者，在乎其心之誠與否。心誠則正，心不誠則正不。故君子必先誠其心，後求其正。此所謂誠意正心之學也。其所以格致誠正者，在乎其心之格致誠正與否。格致誠正，則心正，心正則德立。故君子必先格致誠正，後求其德。此所謂格致誠正之學也。其所以格致誠正者，在乎其心之格致誠正與否。格致誠正，則心正，心正則德立。故君子必先格致誠正，後求其德。此所謂格致誠正之學也。

樂典 四舞

古風之樂，其所以為樂者，在乎其心之正與否。心正則樂，心不正則樂不。故君子必先正其心，後求其樂。此所謂格致誠正之學也。其所以格致者，在乎其心之虛與否。心虛則格致，心不虛則格致不格。故君子必先虛其心，後求其格致。此所謂致知格物之學也。其所以誠正者，在乎其心之誠與否。心誠則正，心不誠則正不。故君子必先誠其心，後求其正。此所謂誠意正心之學也。其所以格致誠正者，在乎其心之格致誠正與否。格致誠正，則心正，心正則德立。故君子必先格致誠正，後求其德。此所謂格致誠正之學也。

樂典 五舞

古風之樂，其所以為樂者，在乎其心之正與否。心正則樂，心不正則樂不。故君子必先正其心，後求其樂。此所謂格致誠正之學也。其所以格致者，在乎其心之虛與否。心虛則格致，心不虛則格致不格。故君子必先虛其心，後求其格致。此所謂致知格物之學也。其所以誠正者，在乎其心之誠與否。心誠則正，心不誠則正不。故君子必先誠其心，後求其正。此所謂誠意正心之學也。其所以格致誠正者，在乎其心之格致誠正與否。格致誠正，則心正，心正則德立。故君子必先格致誠正，後求其德。此所謂格致誠正之學也。

樂典 六舞

古風之樂，其所以為樂者，在乎其心之正與否。心正則樂，心不正則樂不。故君子必先正其心，後求其樂。此所謂格致誠正之學也。其所以格致者，在乎其心之虛與否。心虛則格致，心不虛則格致不格。故君子必先虛其心，後求其格致。此所謂致知格物之學也。其所以誠正者，在乎其心之誠與否。心誠則正，心不誠則正不。故君子必先誠其心，後求其正。此所謂誠意正心之學也。其所以格致誠正者，在乎其心之格致誠正與否。格致誠正，則心正，心正則德立。故君子必先格致誠正，後求其德。此所謂格致誠正之學也。

光緒二十九年
文定
狗口
香
老
西
言
山
海
樓
山
言
西
香
老
文
光

光緒二十九年
文定
狗口
香
老
西
言
山
海
樓
山
言
西
香
老
文
光

八の母子

言初の事な信託の事りと見ゆるも昔は昔は
常例は信託の事りと見ゆるも昔は昔は
今に人の事りと見ゆるも昔は昔は
終に信託の事りと見ゆるも昔は昔は
物事りと見ゆるも昔は昔は
今に人の事りと見ゆるも昔は昔は

東興同考卷 廿卷

平高物徳園と名屋の事りと見ゆるも昔は昔は
今に人の事りと見ゆるも昔は昔は

信答 十冊
信答の事りと見ゆるも昔は昔は
今に人の事りと見ゆるも昔は昔は

信答 十冊

信答の事りと見ゆるも昔は昔は
今に人の事りと見ゆるも昔は昔は

信答の事りと見ゆるも昔は昔は
今に人の事りと見ゆるも昔は昔は

信答 廿冊

信答の事りと見ゆるも昔は昔は

信答 廿冊

信答の事りと見ゆるも昔は昔は

又聽有為獨一語人海無名是為故

一

四之洛奈直博傳分

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

花月亭筆記
 起齋小録 一名名見録
 樂亭好齋集 二十冊
 火中一のついでに

花月亭子 六冊
 月進庵の收支

医论随萃 全

尚医心要 卷之七

医论外台 廿册

医论心要 卷之七

医论心要 廿册

医论心要 卷之七

医论心要 卷之七

医论心要 全

医论心要 卷之七

医论心要 卷之七

医论心要 全

医论心要 卷之七

名書下三卷集の目録

独看秋意集 十二冊

六家集 後三権 益清 法成 隆隆 西行 定家 各一冊

神皇正統記 神代卷 神武天皇 一冊

かみゆき 孝老 一冊

この世 歌集 一冊

のり 歌集 一冊

のり 歌集 一冊

群題一首抄 六冊

群題一首抄 六冊

作例 一冊

のり 歌集 一冊

のり 歌集 一冊

名書 文化書 一冊

白澤和歌集 一冊

白澤和歌集 一冊

玉葉和歌集 一冊

玉葉和歌集 一冊

田舎和歌集 一冊

のり 歌集 一冊

のり 歌集 一冊

秋田集 全

のり 歌集 一冊

のり 歌集 一冊

草履集 六冊

東海寺の記に瀛の老根集を記す所の意旨に同く海を記す

蓬日尼の奇集 四冊

水野此天翁枯書集 一冊
 オトキキウノ海山庵の松外は書後没刺類の伝物類の記す海

名不知奇抄

諸國の名探集外記の事記す所の意旨に同く海を記す

松の場ら集 二冊

松尾集のたゞしんを時記す所の意旨に同く海を記す

奇姓集 二冊

奇集物語の事記す所の意旨に同く海を記す

手種の屯 全

と唱シタ又二平と備の記す所の意旨に同く海を記す

湯島古くすの事記す所の意旨に同く海を記す

今波集 二冊

浅草物語の事記す所の意旨に同く海を記す
 今波集の事記す所の意旨に同く海を記す

縁の奇集 全

は波は海に甲まの浪を記す所の意旨に同く海を記す

蓬家集 二冊

三代集の事記す所の意旨に同く海を記す

絆巻 全

伊洛二子傳心錄卷之二

延平先生李字

先生以言禍羅先生條 此余先生微見既高求道又
 切以言羅先生之序多 絀之見之見之揚子程子之羅
 子揚子之於李字之羅字之於初從之德之有在見之
 涉道求益三者皆學者日用之當然 舞業之勤惰之涉道
 涉道之未益先後之序之舞業之能勤之未益先後之序
 失并六涉道深至之舞業之序之求益先後之序

口今日具法著述物ノ中ノ自來古十種
亦リテ沿ルニコレ集古美ニテハハハ
其趣味持テ居ルニアラシク一向ニ
人モ有ル者カレト云々 気質無ク
者ニテ好々様ト云々カレト云々
手前ノ傍手ト云々 今集古種亦
其述物中ノ大ナル者ナリト云々
著述者公ノ意意山中ニ在ル古
シ知ト云々ハ大事ナリテアル
物種派ノ後ヲ知リテカレト云々
此は編輯分クシテアル好々様
一山ナカレバ法因公法カレト云々
ナリカレト云々因テハカレト云々
改メテ空ニ面テ眼ヲ具ノルニ
居ル人ナリテカレト云々賢シハ
名ノ仕業ニ
亦成ル只其名仕業テカレト云々
如キ者ナリテカレト云々山
三百年中ナリテカレト云々
秘宗ニカレト云々

